

カツコソソ
ダンサーを
サイドに
カツコソソ
ダンサーを
サイドに
カツコソソ
ダンサーを

い
い
——For creating a dance
ダンサーを
カツコソソ
サイドに
い
い

熊本県立劇場『夕鶴』公演

スピノフ企画

GIII vol. 143



2022年1月19日〔水〕—3月13日〔日〕

休館日＝火曜日 開館時間＝10:00-20:00 *入場無料

熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

主催＝熊本市現代美術館／熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団

企画協力＝岡本優 (TABATHA) 協力＝公益財団法人熊本県立劇場

サイドにカッコいいダンサーを

For creating a dance

熊本市現代美術館は、同じく熊本の文化施設である熊本県立劇場と、ゆるやかに協力してきました。今回は、2022年2月に熊本県立劇場で上演されるオペラ『夕鶴』（演出＝岡田利規）に際し、ダンスで参加している岡本優（TABATHA）の企画協力のもと、スピノフ企画を実施します。『夕鶴』に関する資料や岡本のダンス作品の映像を紹介します。

岡本優 (TABATHA)

東京都生まれ。ダンサー・振付家。東京を拠点に国内外で活動。幼少よりクラシックバレエを始め、ストリートやジャズダンスなど他ジャンルのダンスも経験。桜美林大学卒。木佐貫邦子に師事。笠井観、木佐貫邦子、笠井瑞丈×上村なおか、伊藤千枝、黒田育世、熊谷拓明、島地保武などの振付作品に参加。2011年にダンス集団TABATHAを旗揚げ、主宰を務める。ダンスにとどまらずデザイナーとしても活動するほか、CMやアイドル、演劇作品の振付も手がける。「トヨタコレオグラフィアワード2012」ファイナリスト、「横浜ダンスコレクション2019」若手振付家のための在日フランス大使館賞およびシビウ国際演劇祭賞を受賞。

関連イベント

「自分を踊る」 [ワークショップ]

2022年2月20日「日」午後2時
熊本市現代美術館 ホームギャラリー
講師＝岡本優 (TABATHA)
*申込方法などの詳細と最新情報については
当館ホームページまたはSNSをご確認ください。

熊本市現代美術館

CAMK | Contemporary Art Museum, Kumamoto

860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F

TEL 096-278-7500 | www.camk.jp

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、展覧会や関連イベントの中止、開催内容の変更、入場制限を行う場合があります。

詳細と最新情報については当館ホームページまたはSNSをご確認ください。

photo by
Kota Sugawara (top right and bottom left)
Mamiko Kaneko (top left and bottom right)